

第32回中国四国IVR研究会

プログラム

日時：2018年10月12日(金)・13日(土)

会場：岡山大学鹿田キャンパス

Junko Fukutake Hall (Jホール)

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

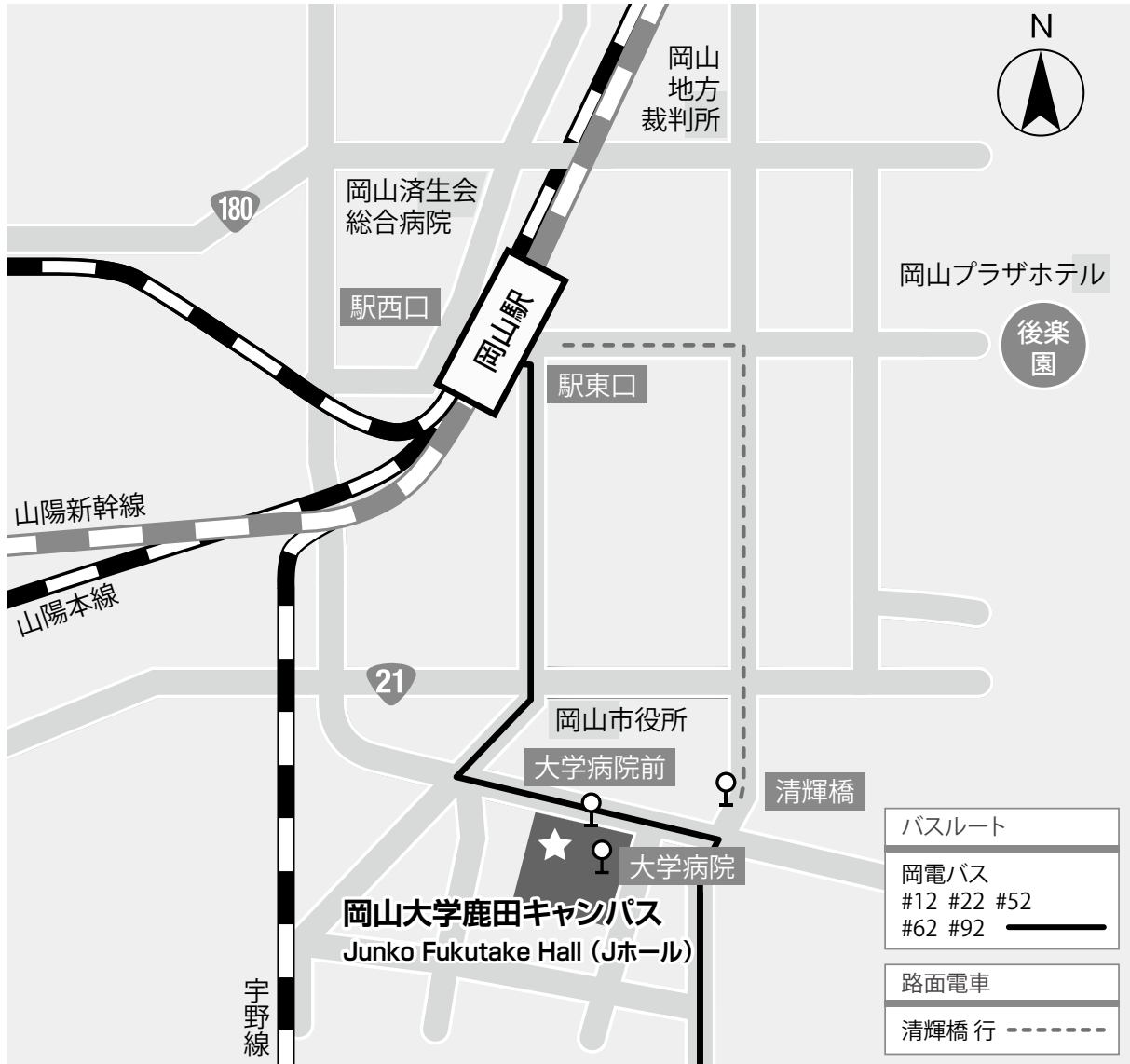
当番世話人 北垣 一

島根大学医学部 放射線医学講座

交通のご案内

岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall (Jホール)

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1



岡山空港から

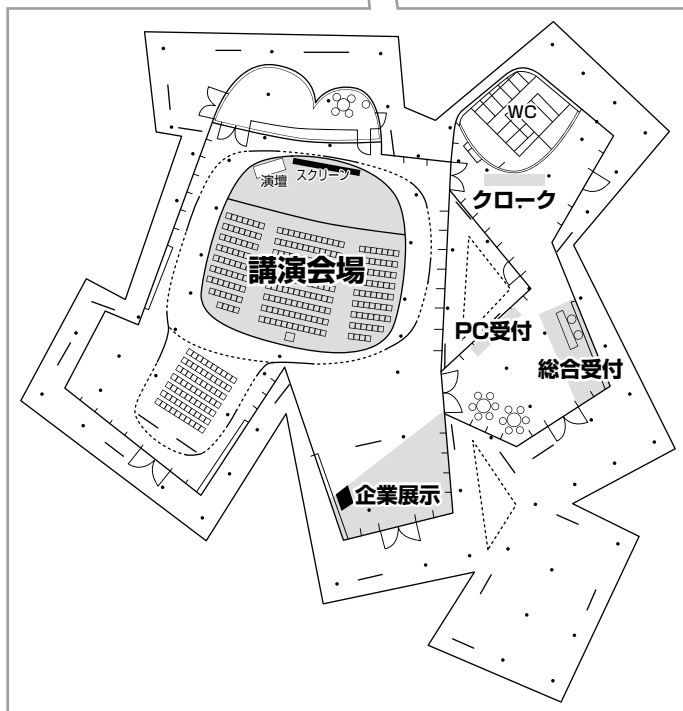
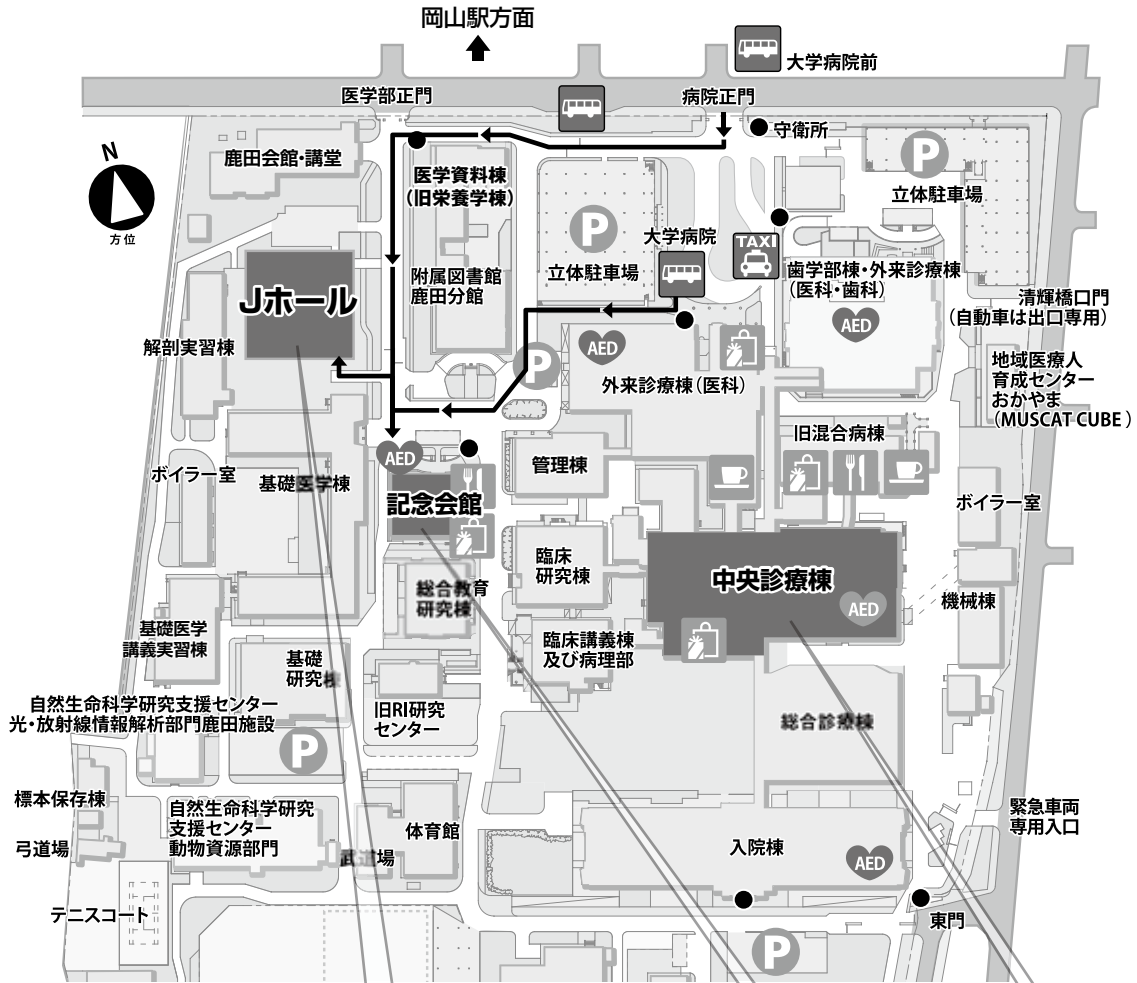
- リムジンバス(所要時間30分)で岡山駅西口バスターミナル下車
2階連絡通路で東口に移動して東口バスターミナルへ

JR岡山駅から

- 岡山駅東口バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バスで「大学病院」構内バス停下車
- 岡山駅東口バスターミナルから「12」・「22」・「52」・「62」・「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
- 岡山駅前(ドレミの街前または高島屋入口)から八晃運輸の市内循環バス「医大めぐりん」で「大学病院入口」下車
- 岡山駅タクシー乗り場から タクシーで約5~10分

※ホールには専用の駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。

会場のご案内



世話人会
(2F 会議室)

全員懇親会
(1F フリーコート)

研究会参加者の皆様へ

●参加受付

場 所：岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall (Jホール) 総合受付

日 時：10月12日(金) 10:00～17:30

10月13日(土) 8:30～14:30

参加費：医師及び企業関係者 5,000円

メディカルスタッフ 3,000円

前期研修医 無料(指導医の証明が必要)

学生 無料(大学院生は除く)

- ・会場内では必ず参加証(兼領収書)に所属・氏名を記入のうえ、携帯してください。
- ・参加証(兼領収書)の再発行はできませんので大切に保管してください。
- ・お支払方法は現金のみとなります。クレジットカードでのお支払いはできません。

●全員懇親会のご案内

日 時：10月12日(金) 19:00～

会 場：岡山大学鹿田キャンパス 中央診療棟 1F フリーコート

参加費は無料です。多数のご参加をお待ちいたしております。

●ドリンクコーナー

ロビーにて、ドリンクコーナーを設けております。ご自由にお召し上がりください。

※ドリンクコーナーの飲料は、講演会場にお持込できません。

ロビーにてお召し上がりいただきますようお願いいたします。

●その他

- ・会場内の椅子が大変汚れやすくなっておりますので、飲食物の取り扱いにご注意ください。共催セミナー以外での飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・当番世話人の許可の無い掲示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。

●プログラム進行情報

一般演題 発表6分、質疑3分

・発表終了1分前に黄色ランプ、終了・超過時には赤色ランプを点灯してお知らせします。

円滑な進行のため、時間厳守をお願いします。

・舞台上には、モニター、キーボード、マウス、レーザーポインターを用意いたします。

演台に上がると最初のスライドが表示されますので、その後の操作は各自でおこなってください。

●座長へのご案内

- 1) セッションの開始時刻15分前までに、会場前方の「次座長席」にご着席ください。
- 2) 担当セッションの時間管理をお願いいたします。

●演者へのご案内

セッション開始の30分前までに、口演会場前のPC受付にお越しください。

10月12日(金) 10:00～ / 10月13日(土) 8:30～

◆発表データ持込み

- 1) 発表データは、Windows PowerPoint 2007～2016のバージョンで作成してください。
- 2) 作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行っていただき、USBフラッシュメモリーでご持参ください。

お預かりしたデータは、研究会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

- 3) フォントは特殊なものではなく、標準フォントをご使用ください。

フォント(日本語): MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝

フォント(英語): Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman

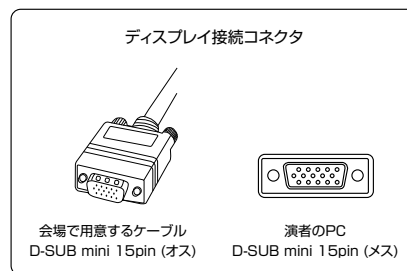
- 4) PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿は必要な方は各自ご準備ください。

◆PC本体持込み

- 1) 動画を含む場合、またMacintoshをご利用の方は、ご自身のPCをご持参ください。
- 2) 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pin(図参照)です。この出力端子を持つPCをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合にはご持参ください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。

※HDMIの直接接続には対応しておりません。変換コネクタを必ずご持参ください。

- 3) パスワード入力は“不要”とし、スクリーンセーバーは事前に解除してください。
- 4) 動画データは、Windows Media Playerにて再生可能であるものに限定いたします。



(図)

●抄録について

本研究会で発表された内容は本学会のホームページ (<http://www.kochi-ms.ac.jp/~Ivr/index.html>) および日本IVR学会誌に掲載されます。

●世話人会のご案内

日時: 10月13日(土) 8:30～9:00

会場: 岡山大学鹿田キャンパス 記念会館 2F 会議室

●医療機器展示のご案内

会期中、岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall (Jホール) 内にて行います。

本プログラムは各自プリントアウトいただき、当日ご持参ください。

日程表

10月12日(金) Jホール	
10:00	受付開始
10:25	開会の辞
10:30	一般演題①：TAE (BAE・胆道)・リザーバー 1～5 座長：山西伴明(高知大学)
11:15	一般演題②： 非血管IVR(消化管・ドレナージ・凍結療法) 6～10 座長：馬場康貴(広島大学)
12:00	
12:15	ランチョンセミナー1 座長：中村 恩(鳥根大学) 演者：矢田晋作(鳥取大学) 小金丸雅道(久留米大学病院) 共催：日本ストライカー株式会社
13:15	
13:20	一般演題③：TAE(外傷・消化管) 11～15 座長：佐野村隆行(香川大学)
14:05	一般演題④： TAE(内臓動脈瘤・術後仮性瘤・術前TAE) 16～20 座長：山本 亮(川崎医科大学)
14:50	
15:00	シンポジウム 座長：佐藤友保(土谷総合病院) 特別講演：井上政則(慶應大学) 症例提示：佐野村隆行(香川大学)／足立 憲(鳥取大学) 田中宏明(愛媛大学) 共催：日本ゴア株式会社
16:00	
16:05	一般演題⑤：バイアバーン 21～25 座長：田中宏明(愛媛大学)
16:50	一般演題⑥：TACE・硬化療法 26～28 座長：木下光博(徳島赤十字病院)
17:17	
17:30	イブニングセミナー 座長：中村一彦(鳥取県立中央病院) 演者：山本 晃(大阪市立大学) 馬場康貴(広島大学) 共催：テルモ株式会社
18:30	
19:00	全員懇親会 [中央診療棟 1F フリーコート]

10月13日(土) Jホール	
8:30	
	受付開始
9:00	モーニングセミナー 座長：山上卓士(高知大学) 演者：吉田理佳(鳥根大学) 馬場康貴(広島大学) 共催：ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
10:00	
10:10	一般演題⑦：門脈系IVR 29～34 座長：富田晃司(岡山大学)
11:04	一般演題⑧：研究・処置 35～38 座長：足立 憲(鳥取大学)
11:40	
11:50	ランチョンセミナー2 座長：金澤 右(岡山大学) 演者：生口俊浩(岡山大学) 宮山士朗(福井県済生会病院) 共催：ゲルベ・ジャパン株式会社
12:50	
13:00	一般演題⑨：EVAR・婦人科領域 39～42 座長：湯浅貢司(鳥根県立中央病院)
13:36	一般演題⑩：四肢末梢・サンプリング 43～46 座長：田辺昌寛(山口大学)
14:12	
14:20	スポンサードセミナー 座長：中村 恩(鳥根大学) 演者：吉松梨香(高知大学)／山本真由(帝京大学) 共催：バイエル薬品株式会社
15:20	閉会の辞

シンポジウム

シンポジウム 第1日目 10月12日(金) 15:00~16:00

座長：佐藤友保（土谷総合病院 放射線科）

「血管損傷における Gore Viabahn の適正使用と Tips & Tricks」

特別講演：Viabahn 損傷用途における現状のアップデート

井上政則 先生

慶應大学医学部 放射線診断科

症例提示：

佐野村隆行 先生

香川大学 放射線科

足立 憲 先生

鳥取大学 放射線科

田中宏明 先生

愛媛大学 放射線科

共催 日本ゴア株式会社

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1 第1日目 10月12日(金) 12:15~13:15

座長：中村 恩 (島根大学医学部附属病院 放射線科)

「BACE (balloon-assisted coil embolization) とその応用」

矢田晋作 先生
鳥取大学医学部附属病院 放射線科

「Strategy of short segment embolization」

小金丸雅道 先生
久留米大学病院 放射線科

共催 日本ストライカー株式会社

ランチョンセミナー2 第2日目 10月13日(土) 11:50~12:50

座長：金澤 右 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学)

「フランスでのIVR体験 (TACEを中心に)」

生口俊浩 先生
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学

「尾状葉肝細胞癌に対する超選択的cTACE」

宮山士朗 先生
福井県済生会病院 放射線科

共催 ゲルベ・ジャパン株式会社

イブニングセミナー

イブニングセミナー 第1日目 10月12日(金) 17:30~18:30

座長：中村一彦 (鳥取県立中央病院 放射線科)

「腭癌術前血流改変及び門脈圧亢進症におけるAZURの有用性について」

山本 晃 先生
大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学

「肺動静脈奇形におけるAZURの有用性について」

馬場康貴 先生
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 放射線診断学研究室

共催 テルモ株式会社

モーニングセミナー

モーニングセミナー 第2日目 10月13日(土) 9:00~10:00

座長：山上卓士（高知大学医学部 放射線医学講座 教授）

「当院でのInterlock Coilを用いた塞栓経験」

吉田理佳 先生
島根大学医学部附属病院 放射線科 助教

「門脈塞栓術における私見について～New Microcather Breakthroughの使用経験を踏まえて～」

馬場康貴 先生
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 放射線診断学教室 准教授

共催 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社

スポンサードセミナー

スポンサードセミナー 第2日目 10月13日(土) 14:20~15:20

座長：中村 恩（島根大学医学部附属病院 放射線科 講師）

「リンパ管造影 診断から治療まで」

吉松梨香 先生
高知大学医学部 放射線医学講座 助教

「様々なリンパ管塞栓術」

山本真由 先生
帝京大学医学部 放射線科学講座 講師

共催 バイエル薬品株式会社

〔一般演題①〕 TAE (BAE・胆道)・リザーバー 10:30～11:15

座長：山西伴明（高知大学 放射線科）

1 肺動脈側から塞栓術を施行した気管支動脈－肺動脈瘻の1例

¹香川県立中央病院 放射線科, ²岡山大学病院 放射線科

○田尻展久¹, 宗友一晃², 北山貴裕¹, 久住研人¹, 吉尾浩太郎¹, 塩出 壮¹, 赤木史郎¹,
金澤 右²

2 DeFrictor Nano Catheterを用いたNBCA塞栓術の1例

愛媛大学 放射線科

○田中宏明, 川口直人, 望月輝一

3 気管支動脈塞栓術を施行した特発性咯血症の1例

¹愛媛大学医学部 臨床研修センター, ²愛媛大学医学部 放射線科

○森川友郎¹, 田中宏明², 河内義弘², 川口直人², 望月輝一²

4 胆道出血の一例

¹姫路聖マリア病院 放射線科, ²岡山大学 放射線科

○淀谷光子¹, 大前健一¹, 藤江俊司¹, 金澤 右²

5 肝動注リザーバーカテーテルが抜去不能となった1例

岡山大学 放射線科

○松井裕輔, 平木隆夫, 生口俊浩, 富田晃司, 宇賀麻由, 正岡佳久, 郷原英夫, 金澤 右

6 食道空腸吻合部縫合不全による難治性瘻孔に対し吊り下げ法による食道ステント留置を行った1例

¹鳥取市立病院 放射線科, ²鳥取市立病院 外科, ³鳥取大学 放射線科,
⁴大阪南医療センター 放射線科

○松本顕佑¹, 橋本政幸¹, 松木 勉¹, 水野憲治², 大石正博², 遠藤雅之³, 大内泰文³,
藤井進也³, 神納敏夫⁴

7 緩和IVRとして経鼻用ダブルルーメンカテーテルを経皮経食道的に留置した症例

高知医療センター 放射線科

○大西伸也, 高萩基仁, 大場 匠, 秦 康博, 野田能宏, 児島克英, 西岡明人, 松坂 聡,
森田荘二郎

8 食道胃接合部癌術後の膿胸に対してスティッフニングカニューラを併用しCTガイド下にトロッカー留置を施行した1例

¹医療法人住友別子病院 放射線IVR科, ²医療法人住友別子病院 放射線部,
³岡山大学病院 放射線科

○沼 哲也¹, 井石龍比古¹, 内ノ村聡², 加藤 勤², 金澤 右³

9 腎凍結療法後に尿管内に腫瘍が脱落し水腎症を来した1例

岡山大学病院 放射線科

○大川 広, 郷原英夫, 小牧稔幸, 宇賀麻由, 正岡佳久, 富田晃司, 松井祐輔, 生口俊浩,
櫻井 淳, 平木隆夫, 金澤 右

10 腎凍結療法における副腎凍結に伴う合併症の2例

岡山大学医学部 放射線科

○宗友一晃, 富田晃司, 郷原英夫, 平木隆夫, 生口俊浩, 松井裕輔, 正岡佳久, 小牧稔幸,
岡本聡一郎, 金澤 右

11 TAEにより止血した、十二指腸憩室出血の1例

¹岩国医療センター 放射線科, ²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学

○矢吹隆行¹, 原 武史¹, 尾形 毅¹, 和田裕子¹, 金澤 右²

12 内視鏡的乳頭切除術後出血に対して動脈塞栓術を施行した2例

鳥取大学 放射線科

○遠藤雅之, 大内泰文, 矢田晋作, 足立 憲, 高杉昌平, 塚本和充, 藤井進也

13 胃癌術後に脾動脈仮性瘤を生じ、IVR中に大量吐血を認めた1例

¹徳島赤十字病院 放射線科, ²徳島赤十字病院 救急科

○武知克弥¹, 木下光博¹, 松永直樹², 宇山直人¹, 赤川洋子¹, 尾崎享祐¹, 谷 勇人¹,
大西範生¹

14 仮性瘤を伴う骨盤部の外傷性動静脈瘻 (AVF) に対して経静脈的コイル塞栓術を施行した1例

愛媛県立中央病院 放射線科

○福山直紀, 石丸良広, 高門政嘉, 横井敬弘, 村上忠司, 井上 武, 三木 均

15 胸骨圧迫に伴う内胸動脈損傷・心膜損傷による心タンポナーデに対して心嚢ドレナージならびにTAEを施行した1例

¹徳島赤十字病院 放射線科, ²徳島赤十字病院 救急科, ³徳島赤十字病院 心臓血管外科

○木下光博¹, 武知克弥¹, 松永直樹², 宇山直人¹, 赤川洋子¹, 尾崎享祐¹, 大西範生¹,
谷 勇人¹, 元木達夫³, 来島敦史³, 福村好晃³

16 大網出血の1例

¹岡山済生会総合病院 IVRセンター, ²岡山済生会総合病院 救急科, ³岡山大学 放射線科
○安井光太郎¹, 本郷貴識², 藤原俊文², 金澤 右³

17 興味深い経過をたどった下脜十二指腸動脈瘤の2例

¹福山市民病院 放射線診断・IVR科, ²福山市民病院 外科, ³福山市民病院 心臓血管外科,
⁴岡山大学病院 放射線科
○兵頭 剛¹, 浅野雄大¹, 丸川洋平¹, 坪井有加¹, 井田健太郎¹, 貞森 裕², 栗山充仁³,
金澤 右⁴

18 マイクロバルーン補助下での選択的動脈塞栓術が有用であった脜術後出血の1例

山口大学医学部 放射線科
○田辺昌寛, 岡田宗正, 成清紘司, 田邊雅也, 伊原研一郎, 加藤雅俊, 飯田悦史, 伊東克能

19 脜頭十二指腸切除後の右肝動脈仮性瘤に対して直接穿刺にて塞栓術を施行した一例

高知大学病院 放射線科
○梶原賢司, 南口博紀, 山西伴明, 西森美貴, 吉松梨香, 山上卓士

20 腎癌環椎転移に対する術前動脈塞栓術の1例

山口大学医学部 放射線科
○伊原研一郎, 岡田宗正, 加藤雅俊, 成清紘司, 田邊雅也, 飯田悦史, 田辺昌寛, 伊東克能

21 外傷性左腎動脈解離に対してステント留置術を施行した1例

香川大学医学部 放射線医学講座

○藤本憲吾，佐野村隆行，三田村克哉，則兼敬志，安賀文俊，木村成秀，西山佳宏

22 ゴアバイアバーンステント留置が治療に有用であった外傷性腎動脈仮性瘤の一例

広島大学医学部 放射線診断科

○前田章吾，馬場康貴，帖佐啓吾，富士智世，松原佳子，成田圭吾，三谷英範，栗井和夫

23 バイアバーンを使って治療した，医原性仮性動脈瘤の2例

県立広島病院 放射線診断科

○黒瀬太一，岸田直孝，末岡敬浩，土田恭幸，小林昌幸

24 肝動脈仮性瘤に対してVIABAHNステントグラフトを用いて治療した3例

川崎医科大学 放射線画像診断学

○山本 亮，福永健志，中村博貴，前場淑香，神吉昭彦，谷本大吾，玉田 勉

25 血胸に対してViabahnとNBCA-lipi混合液にて加療し得た1例

¹山口大学医学部 放射線科，²山口大学大学院 器官病態外科学

○岡田宗正¹，田辺昌寛¹，成清紘司¹，伊原研一郎¹，加藤雅俊¹，美甘章仁²，田中俊樹²，濱野公一²

26 転移性肝腫瘍に対するDSM-TAE併用RFAの経験

山陰労災病院 放射線科

○井俣孝司, 山本修一

27 胸骨血管腫に対して硬化療法を施行した1例

鳥取大学医学部 放射線科

○塚本和充, 大内泰文, 矢田晋作, 足立 憲, 遠藤雅之, 高杉昌平, 藤井進也

28 直腸静脈瘤に対しCTガイド下に直接穿刺し、硬化療法を施行した1例

¹関門医療センター 放射線科(初期研修医), ²下関市民病院 放射線科

○岡 大雅¹, 上田高顕¹, 箕田俊文², 佃 利信¹, 河村光俊¹

〔一般演題⑦〕 門脈系IVR 10:10~11:04

座長：富田晃司（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学）

29 Pull through 法による門脈ステント留置が有効であった術後性門脈閉塞による消化管出血の1例

¹中国労災病院 放射線科, ²広島大学病院 放射線診断科

○富士智世¹, 帖佐啓吾², 内藤 晃¹, 福本 航², 馬場康貴², 栗井和夫²

30 胆嚢癌術後再発による門脈狭窄に対して経皮経脾的に門脈拡張術を施行し得た1例

山口大学医学部 放射線科

○伊原研一郎, 岡田宗正, 加藤雅俊, 成清紘司, 田邊雅也, 飯田悦史, 田辺昌寛, 伊東克能

31 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術を施行した十二指腸静脈瘤の1例

広島市民病院 放射線診断科

○太刀掛俊浩, 谷 千尋, 谷為乃扶子, 田村彰久, 稗田雅司, 浦島正喜

32 胃静脈瘤破裂に対して緊急PARTO(plug-assisted retrograde transvenous obliteration)が有用であった1例

鳥取大学医学部 放射線科

○矢田晋作, 大内泰文, 足立 憲, 遠藤雅之, 高杉昌平, 塚本和充, 松本顕佑, 小谷美香, 牧嶋 惇, 藤井進也

33 ドレナージカテーテル留置法による術前門脈塞栓術穿刺トラクト閉鎖の検討

¹鳥取市立病院 放射線科, ²鳥取市立病院 外科, ³鳥取大学医学部付属病院 放射線科

○橋本政幸¹, 松本健佑¹, 松木 勉¹, 水野憲治², 大石正博², 矢田晋作³, 大内泰文³, 藤井進也³

34 大腿静脈アプローチで右副肝静脈からTIPSを施行した難治性腹水の1例

¹愛媛大学 放射線科, ²徳島赤十字病院 放射線科, ³高知大学 放射線科

○田中宏明¹, 川口直人¹, 望月輝一¹, 木下光博², 梶原賢司³, 山上卓士³

35 肝細胞癌に対する Cone-Beam CTHA での腹腔動脈注入と総肝動脈注入の比較

独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 放射線診断科

○堀田昭博, 石川雅基, 松浦範明, 豊田尚之

36 術前右門脈塞栓術における肝容積変化に脾臓が与える影響について

広島大学病院 放射線診断科

○帖佐啓吾, 馬場康貴, 三谷英範, 松原佳子, 成田圭吾, 前田章吾, 栗井和夫

37 肝右葉ドーム下HCCに対するTACE後のCTおよびUSガイド下RFAの焼灼範囲の検討

¹広島大学病院 放射線診断科, ²中国労災病院 放射線科

○三谷英範¹, 馬場康貴¹, 帖佐啓吾¹, 栗井和夫¹, 富士智世², 内藤 晃²

38 テープ固定に伴う皮膚障害の予防における非アルコール性保護膜形成剤の効果の検証

¹呉医療センター・中国がんセンター 外来,

²呉医療センター・中国がんセンター 放射線科

○千手志乃¹, 石川雅基², 森井 恵¹, 間 亜伊¹, 山本智恵美¹, 豊田尚之²

39 術前内腸骨動脈塞栓併用EVAR症例における術後 type 2 endoleak の検討

鳥取県立中央病院 放射線科

○中村一彦, 井上千恵, 松末英司, 藤原義夫

40 内腸骨動脈瘤に対するコイル塞栓術およびステントグラフト内挿術後の再開通に対して動脈塞栓術を施行した一例

川崎医科大学総合医療センター 放射線科

○芝本健太郎, 福原由子, 浜田 聡, 荻野裕香, 林 貴史, 加藤勝也

41 ステントグラフト内挿術後に脚の disconnection を来しIVRにて治療し得た2例

¹鳥取大学 放射線科, ²鳥取大学 心臓血管外科

○足立 憲¹, 大内泰文¹, 矢田晋作¹, 遠藤雅之¹, 高杉昌平¹, 塚本和充¹, 藤原義和²,
西村元延², 藤井進也¹

42 当院における産婦人科疾患術前動脈バルーン塞栓術の経験

香川大学医学部 放射線医学講座

○則兼敬志, 佐野村隆行, 岡田 隼, 藤本憲吾, 三田村克哉, 田中賢一, 木村成秀,
西山佳宏

43 EVT device TruePathの初期経験

¹松江生協病院, ²鳥根大学医学部 放射線科

○中村友則¹, 吉田里佳², 中村 恩², 丸山光也², 安藤慎司², 北垣 一²

44 保存的治療法抵抗性の膝関節周囲慢性疼痛に対して経動脈的微細血管塞栓術：TAMEを施行した1例

¹鳥取大学医学部 放射線科, ²鳥取大学医学部 整形外科

○高杉昌平¹, 大内泰文¹, 矢田晋作¹, 足立 憲¹, 遠藤雅之¹, 塚本和充¹, 小谷美香¹,
牧嶋 惇¹, 榎田 誠², 林 育太², 藤井進也¹

45 VAIVTでの高度疼痛に対して腋窩アプローチによる超音波ガイド下下腕神経叢ブロックが有用であった1症例

¹山陰労災病院 放射線科, ²鳥取大学医学部 放射線科

○山本修一¹, 井隼孝司¹, 大内泰文², 矢田晋作², 足立 憲², 遠藤雅之², 高杉昌平²,
塚本和充², 牧嶋 惇², 藤井進也²

46 静脈サンプリングが有用であったOvarian Leydig cell tumorの1例

¹鳥根大学医学部附属病院 放射線診療科, ²鳥根大学医学部附属病院 産婦人科

○岡村和弥¹, 田中翔大¹, 上村朋未¹, 石橋恵美¹, 丸山光也¹, 荒木久寿¹, 荒木和美¹,
吉田理佳¹, 安藤慎司¹, 山本伸子¹, 勝部 敬¹, 中村 恩¹, 吉廻 毅¹, 北垣 一¹,
京 哲²

協賛企業一覧

朝日インテックJセールス株式会社
エーザイ株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
Cook Japan株式会社
ゲルベ・ジャパン株式会社
小西医療器株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
第一三共株式会社
大日本住友製薬株式会社
テルモ株式会社
株式会社東海メディカルプロダクツ
東レ・メディカル株式会社
日本ゴア株式会社
日本ストライカー株式会社
株式会社根本杏林堂
株式会社NOBORI
バイエル薬品株式会社
株式会社パイオラックスメディカルデバイス
株式会社日立製作所
富士製薬工業株式会社
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
メディキット株式会社
株式会社メディコスヒラタ
株式会社メディコン

(50音順)

2018年9月18日現在

ASAHI Meister S14

Micro Guide Wire

販売名：IMR ガイドワイヤーⅢ
医療機器承認番号：22300BZX00210000
特定保険医療材料機能区分：血管造影用ガイドワイヤー 微細血管用

ガイドワイヤーとカテーテルの一体思考

細径システムが新たな STAGE (Transcatheter Arterial Ablation) へ到達する

ASAHI Veloute Ultra

Microcatheter

販売名：マイクロカテーテルV
医療機器承認番号：22400BZX00391000
特定保険医療材料機能区分：血管造影用マイクロカテーテル オーバーザワイヤー 選択的アプローチ型 (ブレードあり)

「ASAHI」、「Veloute」、「ASAHI Veloute Ultra」及び「ASAHI Meister」は朝日インテック株式会社の日本国及びその他の国における商標又は登録商標です。
© 2017 ASAHI INTECC CO., LTD.

製造販売元

 ASAHI INTECC

朝日インテック株式会社

〒489-0071 愛知県瀬戸市眺町3番地100
TEL:0561-48-5551 FAX:0561-48-5552
<http://www.asahi-intecc.co.jp/>

販売元

 ASAHI INTECC J-sales

朝日インテックJセールス株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル5階
TEL:03-6433-3100 FAX:03-5715-4700
注文受付FAX:0570-000-675
<http://www.asahi-inteccj.com/>

スマホ用アプリ OFFICIAL APPLICATION



製品や学会情報を手軽にスマートフォンで確認できるようにアプリを作成いたしました。是非ともご活用ください。



for iOS
Download on the
App Store



for Android
Download on the
Google Play

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



Beyond the Image



その想像力を超えていけ。

新しいアンギオシステム Alphenix。それは、とどまることのないあくなき医療への挑戦。
新画像処理エンジンが生み出す上質な透視・撮影は、アナトミーとデバイスを確実に映し出します。

さらに、豊富なアプリケーションによる定量評価・治療支援は、
線量低減もあいまって、より安心・安全に治療に集中できる環境を可能にしました。

医師のイマジネーションを確信の世界へ。キヤノンメディカルシステムズ、映し出すのは頂点への道筋です。

X-Ray Angiography system

Alphenix Debut!

生命を未来につなげるために。

Challenge & Realize

私たちは「命の大切さ」を念頭に
真心をこめて信頼をお届けする企業をめざし
医療を通じて社会に貢献します。





世界で最も、 高齢者の笑顔が 輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、
いま求められています。

例えば、自宅と医療が密接につながった
安心できる仕組みを。年齢を重ねることによるリスクを、
可能な限り低減できるテクノロジーを。

高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、
やさしい医療環境をサポートするために、
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつけます。

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021
www.gehealthcare.co.jp

Silver to Gold.



GE imagination at work

healthymagination



シームレスIVR-CTソリューション

nexaris Angio-CT

At the nexus of treatment innovation

まるで、ひとつのモダリティのような使用感。

血管撮影装置 Artis シリーズと X 線 CT 装置 SOMATOM シリーズのさらに深い融合が、
インターベンションのあらたなワークフローを生み出します。

www.healthcare.siemens.co.jp

据置型デジタル式循環器用 X 線透視診断装置
アーティス zee T 認証番号：218AIBZX00069A01
アーティス Q 認証番号：224AABZX00174000

全身用 X 線 CT 診断装置
ゾマトム Edge Plus 認証番号：230AABZX00027000
SOMATOM デフィニション Edge 認証番号：224AABZX00093000

SIEMENS
Healthineers



非イオン性造影剤

処方箋医薬品*

薬価基準収載



オムニパーク®

OMNIPAQUE®

※注意—医師等の処方箋により使用すること

日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)
 オムニパーク240注20mL・50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注20mL・50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注150mL(血管用)
 オムニパーク350注20mL・50mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注100mL(血管用)
 オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク300注10mL(脊髄用)

日本薬局方 イオヘキソール注射液

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)
 オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

肝細胞癌におけるリピオドリゼーション適応が認められた 初めてのプラチナ製剤



警告

本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法及び肝細胞癌に対する局所療法（経皮的エタノール注入療法、ラジオ波熱凝固療法、マイクロ波凝固療法、肝動脈塞栓療法・肝動脈化学塞栓療法、放射線療法等）に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤が適切と判断される症例にのみ使用すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから実施すること。

禁忌（次の患者には投与しないこと）

- (1) 本剤、他の白金を含む薬剤又はヨード系薬剤に対する重篤な過敏症の既往歴のある患者
- (2) 重篤な甲状腺疾患のある患者〔本剤懸濁液はヨード化合物であり、ヨード摂取量の増加により甲状腺障害を増悪させるおそれがある。〕
- (3) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔添付文書の「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照〕

原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）

総ビリルビン値が3mg/dL以上の患者又は肝障害度Cの患者〔肝不全を起こすことがある。〕

■ 効能・効果

肝細胞癌におけるリピオドリゼーション

■ 用法・用量

ミリプラチン70mgを本剤懸濁液3.5mLに懸濁し、1日1回肝動脈内に挿入されたカテーテルより投与する。本剤の投与は、腫瘍血管に懸濁液が充満した時点で終了すること。ただし、上限を1回6mL（ミリプラチンとして120mg）とする。また、繰り返し投与する場合には、4週間以上の観察期間をおくこと。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

1. 多孔性ゼラチン粒等の塞栓材を併用した場合の有効性及び安全性は確立していない。
2. 他の抗悪性腫瘍剤と併用した場合の有効性及び安全性は確立していない。
3. X線透視下にて懸濁液が粒状になる速度で少量ずつ投与すること。〔重要な基本的注意〕の項参照〕

■ 使用上の注意

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1) 腎障害のある患者〔腎機能が低下しているため、副作用が強くなるおそれがある。〕
 - (2) 本剤、他の白金を含む薬剤又はヨード系薬剤に対する過敏症の既往歴のある患者〔「禁忌」の項参照〕
 - (3) 甲状腺疾患のある患者〔「禁忌」の項参照〕
 - (4) 高齢者〔添付文書の「高齢者への投与」の項参照〕
 - (5) 血管造影で明らかな肝内シャントがある患者〔本剤が肝内シャントを介して正常組織に流入し、血管塞栓による重篤な副作用を起こすおそれがある。〕
 - (6) 血管造影で明らかな門脈腫瘍栓がある患者〔門脈血が遮断されているため、本剤の投与により投与部位の血流が低下し、肝不全を起こすおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

- (1) 発熱がほとんど全例にあらわれるため、患者の状態を十分に観察し、解熱剤の投与等適切な処置を行うこと。
- (2) 肝機能障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- (3) 本剤投与時にショック、血圧低下、徐脈等があらわれることがあるので、投与中及び投与直後は経過観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- (4) 標的とする部位以外への流入により、重篤な胃穿孔、消化管出血、胃・十二指腸潰瘍、脳梗塞、肺梗塞、肺塞栓、成人呼吸窮迫症候群、脊髄梗塞等が起こるおそれがあるので、投与に際しては以下の点に注意すること。〔「用法・用量に関連する使用上の注意」の項参照〕
 - 1) 本剤は肝動脈（固有肝動脈、右肝動脈、左肝動脈、中肝動脈等）内投与にのみ使用すること。また、固有肝動脈より可能な限り末梢から投与すること。ただし、腫瘍の栄養血管が下横隔動脈、左胃動脈等肝動脈以外である場合は、これらの栄養血管の血管走行を十分検査し、投与すること。投与に際しては、本剤の大動脈への逆流及び胃十二指腸動脈内への流入を回避するように十分注意して、カテーテルを挿入しX線透視下で少量ずつ投与すること。
 - 2) 門脈本幹との著明なAPシャントのある患者に投与する場合には、シャントより肝側までカテーテルを挿入し、X線透視下で少量ずつ投与すること。

3. 副作用

臨床試験における安全性評価対象例113例の全例に副作用（臨床検査値の異常変動を含む）が認められ、主な副作用は発熱107例（94.7%）、CRP上昇103例（91.2%）、好酸球増多91例（80.5%）、NAG上昇86例（76.1%）等であった。（承認時）

(1) 重大な副作用

- 1) 肝機能障害（5～10%）、黄疸（頻度不明）、肝不全（頻度不明）
本剤投与直後よりAST（GOT）、ALT（GPT）、ビリルビン、ALP、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。また、肝不全に至ることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。
- 2) 肝・胆道障害（頻度不明）
胆嚢炎、胆汁性囊胞、肝膿瘍等の肝・胆道障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。
- 3) 感染症（1%未満）
感染症が併発した場合に重症化して敗血症（1%未満）があらわれることがあるので、患者の全身状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。本剤投与直後及び投与後1週間以降に発熱が認められることがあるので、経過観察を十分に行い、発熱の遷延が認められ、感染症の兆候がある場合は、感染症に対する処置も行うこと。
- 4) 骨髄抑制（1%未満）
好中球減少（1%未満）等の骨髄抑制があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 5) ショック、アナフィラキシー様症状（頻度不明）
ショック、アナフィラキシー様症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、血圧低下等の異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 6) 間質性肺炎（頻度不明）
間質性肺炎があらわれることがあるので、発熱、咳嗽、呼吸困難等の臨床症状を十分に観察し、異常が認められた場合には、胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。間質性肺炎が疑われた場合には、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 7) 急性腎不全（頻度不明）
急性腎不全等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、BUN、血清クレアチニン値等の異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。

● その他の使用上の注意は、添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

TEL 0120-034-389

受付時間/月～金 9:00～18:30（祝・祭日を除く）

【医療情報サイト】 <https://ds-pharma.jp/>



Patency for complex cases.

Proven again.

ゴア® バイアバーン® スtentグラフト国内臨床試験の成績

88%

SFA長区域複雑病変における12ヶ月時1次開存率^{*, 1}

- 21.8 cm 平均病変長
- 65.7% 完全閉塞
- 84.5% TASCII C&D病変



* 日本の治験では、12ヶ月時の一次開存率(定義:TLRが無く、血流が確認されること)は92%を示した。同じ治験にてTLRが無くPSVR2.5未満と定義をした場合の12ヶ月時の一次開存率は88%を示した。

1. Ohki T, Kichikawa K, Yokoi H, *et al.* Outcomes of the Japanese multicenter Viabahn trial of endovascular stent grafting for superficial femoral artery lesions. *Journal of Vascular Surgery* 2017;66(1):130-142.e1.

販売名:ゴア® バイアバーン® スtentグラフト
承認番号:22800BZX00070000

製造販売元

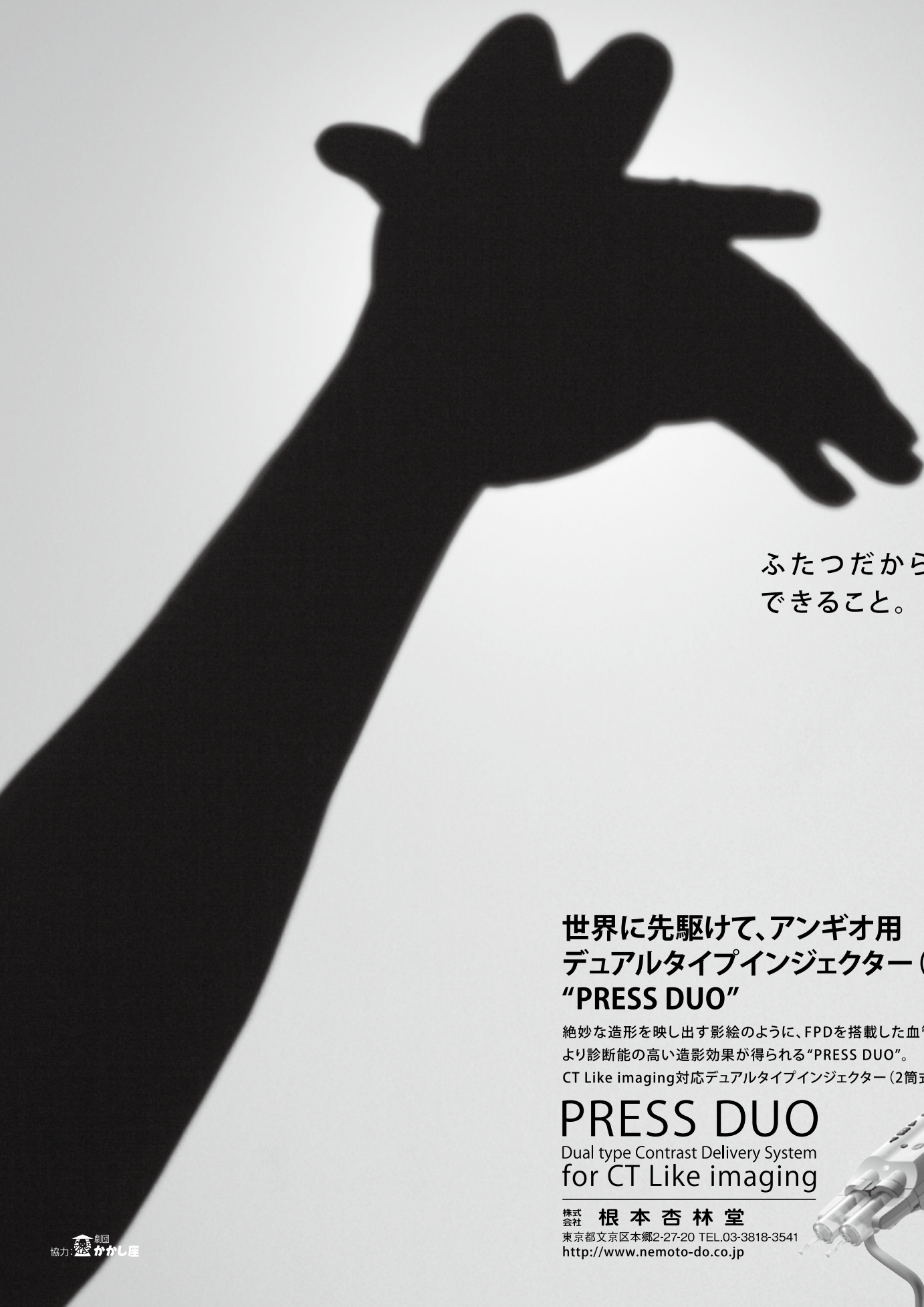
日本ゴア株式会社
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル Tel: 03-6746-2560 Fax: 03-6746-2561

ゴア®, GORE®, バイアバーン®, VIABAHN®, および記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associates の商標です。
©2017 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア株式会社 AV0934-JA2 AUGUST 2017



HEPARIN
BIOACTIVE SURFACE



ふたつだから、
できること。

世界に先駆けて、アンギオ用
デュアルタイプインジェクター (2筒式)
“PRESS DUO”

絶妙な造形を映し出す影絵のように、FPDを搭載した血管造影装置で、
より診断能の高い造影効果が得られる“PRESS DUO”。

CT Like imaging対応デュアルタイプインジェクター (2筒式)です。

PRESS DUO
Dual type Contrast Delivery System
for CT Like imaging



株式会社 **根本杏林堂**
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541
<http://www.nemoto-do.co.jp>



みんなの明日へ、医療情報クラウド。

NOBORI Medical information platform

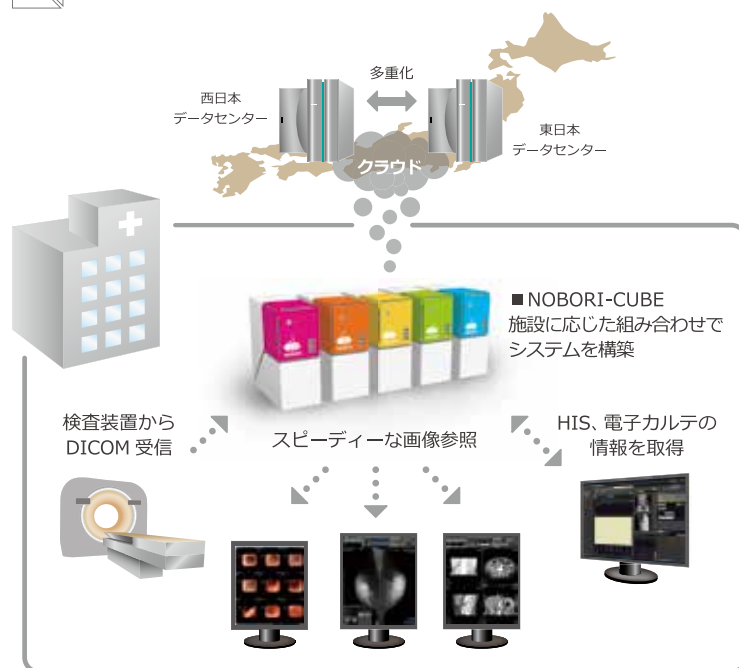


NOBORI とは

「NOBORI」は IT 技術によって、画像などの医療情報を安全に保管・利用できる新しいクラウドサービスです。CT・MRI などの画像をはじめとする大容量の医療情報データを、医療機関の外部にあるデータセンターで安全管理します。必要な時にいつでも参照、共有、利用でき、PACS という言葉に統合されるさまざまなソフトウェアや機能をクラウド環境でご提供いたします。



サービスイメージ



Feature 01

NOBORI-CUBE

院内サーバ不要

NOBORI 専用アプライアンス "NOBORI-CUBE" です。病院様の規模により必要数配置します。ストレージに SSD を採用し耐障害性に優れます。

Feature 02

Smart-Retrieve

スピーディーな画像参照

電子カルテ・オーダの情報と連携し、院内で参照必要になるデータを事前にデータセンターから取り寄せる Smart-Retrieve 機能を実装しています。

Feature 03

Security

安心・安全のデータ保管

データは東日本/西日本のデータセンターで多重管理します。またデータは暗号化および秘密分散の方式によりデータの安全性を約束します。

Feature 04

Cost Saving

初期投資『ゼロ』

NOBORI-CUBE はレンタルとしてご提供するため、初期投資ゼロを実現します。将来的な拡張も契約プランの変更のみとなり、数年ごとのサーバの買い替えも不要になります。

Feature 05

Maintainability

障害自動検知

各施設での稼働状況は、データセンターから常時システム監視され、万一障害情報を検知した際は NOBORI サポートセンターより問題解決を図ります。

Feature 06

Communication

施設間連携にも対応

関連施設との患者データの共有、遠隔読影、症例共有、モバイル対応など施設を横断したサービスのご提供も可能です。

更なるやさしさを目指し、 日立CryoHitと共にはじまる 新しい低侵襲治療。

国内では、小径腎腫瘍への適用を機にスタートした凍結治療。
痛みや周辺組織へのダメージが少ないこと、
開腹下、腹腔鏡下でも使用可能なこと、
MRIガイド下で凍結範囲を正確にモニタリングできることなど
多くのメリットがあり、新たな低侵襲治療として注目されています。

日立は、CryoHitと共に凍結治療のスタートラインに立ち、
その先の可能性をみつめています。
患者さんへの、よりやさしい治療を目指して。



冷凍手術器

CryoHit

特徴1 複数種のニードルで、腫瘍の形に適した凍結領域のアレンジが可能

特徴2 常温高圧ガスによるスピーディーな凍結／解凍が可能

特徴3 断熱材不要のフレキシブルなホースの取り回し

製造元：GALIL MEDICAL社
製造販売元：株式会社日立製作所
販売名：冷凍手術器CryoHit
医療機器承認番号：22200BZX00073000



オイパロミン®

非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液
処方せん医薬品[※] 薬価基準収載

150注 50mL / 200mL

300注 20mL / 50mL / 100mL

370注 20mL / 50mL / 100mL

300注 シリンジ 50mL / 80mL / 100mL / 150mL

370注 シリンジ 50mL / 65mL / 80mL / 100mL



IOPAQUE®

イオパーク®

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液
処方せん医薬品[※] 薬価基準収載

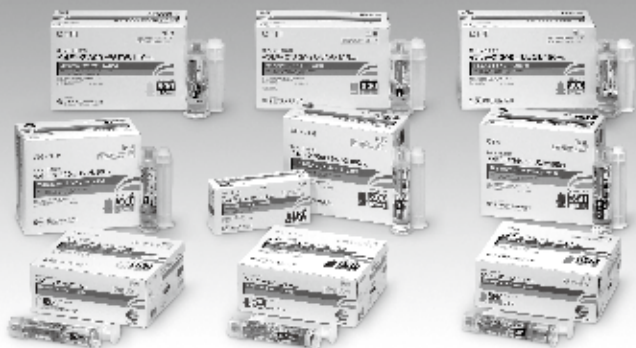
300注 10mL / 20mL / 50mL / 100mL

350注 20mL / 50mL / 100mL

240注 シリンジ 100mL

300注 シリンジ 50mL / 80mL / 100mL / 110mL / 125mL / 150mL

350注 シリンジ 70mL / 100mL



注):注意—医師等の処方せんにより使用すること。 ■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

製造販売元
(資料請求先)



富士製薬工業株式会社

〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地

<http://www.fuji-pharma.jp/>



DIAGNOSTIC
IMAGING

Medikit Occlusion Balloon Catheter

Coaxial
And
Double
Interruption
System

CANDIS™

キャンディス
Coaxial And Double Interruption System

メディキット オクリュージョンバルーンカテーテル ■ ■ ■ ■

一歩進んだ BRTO用オクリュージョンシステム

- ダブルバルーン構造により、効果的に流出路を閉塞することが可能です。
- 子カテーテル内にマイクロカテーテルを挿入することができるため、マイクロカテーテルを併用した、より選択的な硬化剤の注入が可能です。
- 子カテーテルは柔軟で血管選択性が高く、側副路の分岐部を超えて末梢まで挿入が可能です。



メディキット株式会社

発売元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元：東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

承認番号：21600BZZ00024000

第32回中国四国IVR研究会

発行 2018年9月

編集 島根大学医学部 放射線医学講座
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
TEL : 0853-20-2289 FAX : 0853-20-2285

制作 株式会社メッド
〒701-0114 岡山県倉敷市松島 1075-3
TEL : 086-463-5344 FAX : 086-463-5345